

スポーツとコスモポリタニズムの関連性について

A study on relationship between sports and cosmopolitanism

1K04B030-6

内田 樹

指導教員

主査 作野誠一先生

副査 石井昌幸先生

第1章 序論

近年のグローバル化した社会の中で、我々が迎えるあらゆる課題や問題に対して、柔軟かつ迅速に対応するためにも、新たな人材としてグローバルな視野を持ったコスモポリタンが必要とされている。本論文では、そのコスモポリタン、あるいはコスモポリタニズムとスポーツとの関連性を明らかにするために、まずコスモポリタニズムとコスモポリタンという概念を整理し、それらの概念がなぜ社会にとって必要であり、またどのような要素をもってしてコスモポリタニズム、コスモポリタンを生み出すことができるのか先行研究から考察する。そのうえで、それらの要素を満たすツールとしてスポーツが存在することを仮説として導き出し、その仮説を、インタビュー調査をもとに検証することとした。

第2章 コスモポリタニズム、コスモポリタンとは何か

ここでは、コスモポリタニズムとコスモポリタンに関して、先行研究をもとにその性格を明らかにする。本論でのコスモポリタンはトムリンソンの「同時にグローバルな世界とローカルな世界の両方に——倫理的・文化的に——生きることのできる人間」という定義をもとに、そこにギデنزが言う「普遍的な価値の存在をないがしろにしない」という性格を含んだものと定義づける。そして、そのコスモポリタンの必要性に関して、グローバル化した新たな社会において、あらゆる制度にギャップが生じ、それらを変革する必要性を論じ、そのためにも変革を実行するための人材としてコスモポリタンが必要であるということ述べる。そして、そのコスモポリタンを生み出すための重要な要素として「グローバルな経験」と「自己実現欲求」という二つのファクターがあることを先行研究から明らかにした。

第3章 スポーツの世界化の過程とその役割

ここではスポーツの誕生から世界化までの流れとその社会的役割の変遷を文献から概観した。まず第1節では、スポーツが合理主義や啓蒙思想、あるいは科学などの近代特有の新たな概念と平行して、その世界的な広まりを見せたということ把握した。さらに、マス・メディアの発達と世界化に大きな影響を受け、スポーツも更なる世界化を果たしたこと、そして衛星放送の始まりによってその世界化が完成されたことを明らかにした。

また、第2節ではスポーツの社会的な役割に関して、近代特有の思想を体現する装置であったことに触れ、現在ではアイデンティティーの崩壊を防ぐ役割があることに着目した。ここでは、スポーツがアイデンティティーの崩壊を防ぐ理由として、スポーツが公共性を持った、リアリティのある文化であることを、文献を参考にしながら述べる。そして第1節、第2節で概観したスポーツの世界化と、アイデンティティーの崩壊を防ぐ機能から、スポーツがコスモポリタンの誕生に影響を与えるものではないかとの仮説を導き出した。

第4章 スポーツとコスモポリタニズムの関連性についての考察～インタビュー調査をもとに～

ここでは、第3章で導き出された仮説に対し、インタビュー調査を用いて検証を試みた。インタビューの対象としては、グローバルなレベルでスポーツと関わる活動をされている2名を取り扱うこととした。

インタビューは主にスポーツとコスモポリタニズム、コスモポリタンの関連性についてのものである。以下、インタビューの検証と分析の結果である。

1. グローバル化社会において、ローカル性とグローバル性を兼ね備えたコスモポリタンの存在が必要になっている。
2. コスモポリタンを生み出す要素である「グローバルな経験」と「自己実現欲求」を考える上でスポーツはそれらを生み出す、あるいは支える重要なツールになりうるができる。
3. スポーツの教育的価値がコスモポリタン育成にも大きな影響を与える。
4. スポーツが以上のようにコスモポリタンを生み出す上で重要な役割を果たせるにもかかわらず、現状ではスポーツとコスモポリタン育成の関わり合いは非常に限定的なものである。

第5章 結論

ここでは、現在の社会状況について改めて触れ、本論文で概観してきたコスモポリタニズム、コスモポリタンという概念と、スポーツの性格を踏まえた上で、スポーツがコスモポリタン育成における重要なツールとなり得ること、また、今後そのツールとしてのスポーツがより活用されることを提言して結論とした。